

2011

Vol. 13

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJJUEN

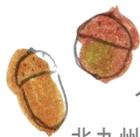


豊かな樹 ・ 豊寿園

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



トピックス TOPICS



入所申込締切迫る！

北九州市内の特別養護老人ホームの入所申込は10月末までとなっています。

それまでにお申し込んだ方々は、平成23年12月1日からの半年間、希望施設に空きが出るのをお待ちいただく事となります。特養への入所をご希望の方は急ぎ、希望施設にてお申込手続きをお済ませください。

なお、豊寿園にお申込をいただいた方の待機順位については、12月始めに文書にてご案内いたします。また、待機の進捗はホームページで随時お知らせいたします。

豊寿園ホームページ <http://nissekihoujuen.jp>



いつかお隣の国にも！

7月27日にお隣の国、韓国より、大韓赤十字社ソウル支局の職員が豊寿園に視察に訪れました。

皆さんは、日本の介護保険における赤十字の福祉施設の実態を把握するための来福で、園内の見学や豊寿園職員との意見交換を行いました。

職員は、韓国語が堪能な長崎管理栄養士を除いて、慣れない通訳を介したコミュニケーションに悪戦苦闘しながらも、赤十字の職員同士互いに有意義な時間を過ごしました。

近い将来、韓国にも私達豊寿園と同じく、赤十字の理念にもとづいた福祉施設が出来るかもしれません。

※後日、ソウル支局から届いたメールをご紹介します

ご配慮に深く感謝を申し上げます。

ソウルに到着した翌日よりずっと水害非常勤務中です。(注：韓国江原道において7月26日から29日にかけて発生した集中豪雨による水害のこと)

今日になってやっとメールを確認いたしました。

豊寿園について詳しい説明と、親切で心のこもったもてなしにとても深く感銘を受けました。本当に感謝申し上げます。

園長様の丁寧なもてなしのおかげで、日本に対してとても良い印象を私たちチーム皆が受けました。

日本も地震や様々な自然災害で容易な状況ではないですが、韓国、日本すべてが大きい被害がないように願っています。地震を見事に克服され、もっと素晴らしい日本によみがえっている途中だと信じています。

韓国も様々な難しさがありますが、力をだして打ち勝ちます。本当に感謝を申し上げます。

機会がありましたらもう一度お会いできればうれしいですね。ではお体にお気をつけてください。

大韓赤十字社ソウル支局
新事業推進団 李 顯淑



ご協力をお願いします！

すっかり秋の季候となったこのごろ、近くに冬の足音も感じるようになりました。

空気も乾燥気味となり、そろそろインフルエンザなどの感染症が心配されます。

豊寿園では、嘱託医と園内外の状況を踏まえ適切な感染症予防対策を講じます。

ご面会の際には、手洗い・うがいの励行と、ご自身が体調不良時の面会はお控えいただくなど、感染症予防にご協力をお願いします。



締切間近！

10月26日(水)10:00~12:00 に豊寿園にて“赤十字幼児安全法講習短期講習会”を開催します。

この講習は、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当て、かかりやすい病気と症状に対する手当てなどの知識と技術を習得していただく講習です。

今回はその中でも特に、家庭などで異物を誤って誤飲誤嚥した際の除去方法や、万一の際の乳幼児への心肺蘇生法について学んでいただく予定です。

子育て真っ最中の方、お孫さんを預かる機会の多い方など奮ってご参加ください。

受講希望の方は豊寿園までお電話ください。

赤十字幼児安全法講習短期講習会

1. 日 時：平成23年10月26日(水)
10:00~12:00
2. 会場：日赤豊寿園研修会議室
3. 費用：無料(但し、テキスト代300円)
4. 後援：北九州市
5. 参加資格：満15歳以上
6. 申込方法：下記へお電話ください
TEL 093-481-1121
担当：生活相談係

ご長寿のお祝い Respect for the Aged Day



九月十九日敬老の日に、園内で「ご長寿のお祝い」を開催しました。
 今年は喜寿の方、五名、米寿の方、五名、白寿の方、一名、百歳超の方、一名に園長からお祝い状をお渡ししました。
 また、今年はお祝い状をお受け取りいただく方のご家族様からの気持ちの込めたメッセージをお寄せいただき、会場にてご紹介させていただきました。
 ご本人様へのお祝いや感謝の気持ち、そして、深い愛情溢れるメッセージで、会場全体が温かい空気に包まれた一日でした。



写真左奥が石津様、右前が和子様

石津様から和子様へのメッセージをご紹介します

貴方が喜寿を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。人間は一人では生きていかれません。私達が今日あるのは周囲の皆様の温かい支援と支えがあったからですね感謝致します。

私達は様々な事を体験してまいりましたね。あの戦前戦中戦後の激動期を、日本の復興のために猛烈社員と呼ばれながら頑張ってきましたね。その甲斐あって暮らしても余裕を持つ様になりました。その矢先に互いの大切な伴侶をカンにより将来を嘱望された若い二人を亡くしてしまいましたね。きっと貴方も人生の虚しさや寂しさを感じられた事でしょう。その後、貴方との出会いが私に一途の光と希望を与えてくれました。

山のキノコ栽培場を見学に来られましたね。緑の木々、川の流れ、鳥の声など、豊かな環境の中での仕事に興味を示してくれました。蛍狩りでは乱舞する蛍を白い両手で掬いとりとする貴方の姿を見ていると、少女がいやいや清楚な素晴らしい淑女を感じました。同じ苦しみと共にした者同士余す人生をともに出来るならばきっと幸せにしたいと心に誓いました。老いらくの恋とても申しませう。さて、先日は二度の骨折、長期の入院、体の不調等本当に心配しました。人を受する事の嬉しさを感じました。早く、体の調子を治しスミニングやドライブや旅行を楽しみましょう。今後、世の中どのように変わっても、貴方に対する私の愛は変わらないことを申し上げます。これからも笑顔の絶えない家庭を築いていきます。こんな気持ちを分かってくれますか。世界一の長寿の國を保っているのは和子さん、貴方ですよ。頑張りますよ。

たくさんのご 感謝を込めて



式典終了後には、金屏風をバックに記念撮影を行いました。



式典ではボランティアさんへの感謝状贈呈式も行いました。



受賞者：藤井ひろみ様、山田裕子様、谷勝利様、河内三千代様、北九州華冠グループ様(順不同)



豊寿園家族会から、記念品としてカラオケセットが贈られました



式典終了後には、職員による影絵を楽しんでいただきました。



司会はプロの方をお願いしました。



7月 七夕の飾りつけを行いました。皆さんは何をお願いしたのでしょうか。



8月 夏祭りを行いました。ご家族様と一緒に食事や出店と、“リノさん”“ハイビスカスさん”のフラダンス、職員の出し物を楽しんでいただきました。



9月 毎年、門司区社会福祉協議会が行っています“門司区シルバー文化祭”に、ご自分達が製作、出展した作品を鑑賞するためバスハイクに行きました。豊寿園の腕自慢の皆さんです。



一枚ずつ紡がれる 新たな記憶

無くしてしまった記憶【もの】もあるけれど
ここで増えていく 記憶【もの】もきっとあるはず



7月 園内にダイキペーカリーさんを招いて、大好きなパンを買って、喫茶コーナーにて食べていただきました。



8月 お化粧会にて、メイクアップ。慣れた手つきで素敵に変身し、記念撮影をしました。



8月 訪問マッサージに来られている柴田さんのご紹介で、松田真朝さん、津久場郷史さんにミニライブをしていただきました。松田さん、津久場さんの詳しい情報はウェブで。

津久場郷史
http://www.imhere.co.jp/artist/tuku_prof.html
松田真朝
<http://www.pro-picasso.com/martha/>

HOJUJEN × Family あなたと向き合った日々

ご家族様の介護に取り組んだ経験をお話いただくこのコーナー。今回、荒木介護長のインタビューに応じてくださったのは、副嶋繁さん。芳子さんご夫妻です。

—ご本人様と豊寿園とは、入所前からのショートステイをご利用いただいていたので長いお付き合いになりますね。豊寿園のことや、介護保険におけるいろいろなサービスについて、以前からご存知でしたか？—

「母は平成17年ごろからもの忘れが目立ちはじめ、段々と介護が大変になってきたので、平成18年から介護保険を利用することになりました。近所にデイサービスがあるのは知っていたので、最初は事業所に直接電話で問い合わせました。そしたら、ケアマネさんを紹介されました。豊寿園のこともケアマネさんから認知症の対応ができることという事で紹介してもらいました。」

「ストレスで胃を悪くしたりもしました。」

—在宅介護をされていて、一番ご苦労なされたのはどのようなことでしたか？—



今回インタビューに応じてくださった副嶋さんご夫妻



今回のインタビューア 荒木介護長

「夜中に起きて家の中を歩き回ることですね。デイサービスに通っていたんですが、家に戻ってくると寝るんです。そして夜中になると目が覚めて…。一人で出て行かない様に、家中閉められるところは全て鍵をかけてました。私達夫婦で母と3人で暮らしながら介護をしていましたが、お互い仕事をしてましたし、ストレスで胃を悪くしたりもしました。」

—それは大変なご苦労でしたね。その後豊寿園に入所されることになりましたが、入所される前と後で施設に対してのイメージにギャップはありませんでしたか？—

「あまり感じませんでしたよ。以前から仕事の関係上、病院や施設を見る機会はありませんでしたが、その時は薄暗くてお年寄りの対応に違和感をおぼえたことはありました。けれども、豊寿園は明るくて昔の施設の様な印象はありませんね。入所してからは、やっぱり24時間見てもらえる事に安心しています。本人も歌を唄ったり、面会に行けば話も出ていますし、このまま穏やかに過ごしてくれれば良いと思っています。」

コラム 「認知症の人の介護」 C O L U M N

text by 介護係長 奥水 薫(北九州市認知症介護指導者)

9月21日は「世界アルツハイマーデー」でした。当園の待機者の数が入所者の数をはるかに超え、そのうちの半数が在宅介護を受けておられるという実態を受けて、介護家族の方々への支援は十分なのだろうかと思っていました。

地域の方に認知症のお話をさせていただいた際、大きくうなずく参加者の方々を拝見し認知症介護の体験者が多くおられるのを実感しました。何かお手伝いできないものかと考え、今回「認知症介護家族支援に向けた研修会講師養成研修」に参加してまいりました。

認知症の初期の症状は、介護家族を混乱させ、また認知症ご本人も苦しめる結果となります。徘徊や物盗られ妄想も、その行動を起こす原因を考え対処しなければなりません。背景にある要因を考えケアをしなければならぬのですが、うまくいった対応も突然拒否されることもあります。逆に、認知症のご本人様に教えていただくこともたくさんあります。

超高齢化と少子化の最中、介護を必要とする方と介護を担う方の比率を考えると私自身将来に不安を感じずにいられません。

小中学校での認知症サポーター養成講座等も当園のキャラバンメイトの職員が実施しています。認知症介護に関わる職員として今後も地域との関わりを大切にし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのお役に立てれば幸いです。私達、豊寿園がお役に立てる事があるのであれば、お気軽にご相談ください。

きょう クロス! 計画

いつもそこにある 赤十字

地域と地域、人と人
あいだにいつも赤十字がある



9月28日 門司区地区赤十字奉仕団の皆さんとの交流会を行いました。当日は校区代表者の会議を行った後、園入口の花壇にペコニアを植えて、キレイな赤十字を表現しました。



7月22日
松ヶ江北小学校との2回目の交流として、荒木美奈介 護長が小学校に出講し、認知症についての授業を行いました。



8月27日
北九州市社会福祉協議会主催の「認知症サポーター養成講座」に、荒木美奈介 護長が出講しました。奥水係長が扮する認知症高齢者とのロールプレイを通じて、対応の仕方などを分かりやすく伝えました。



9月21日
松ヶ江中学校にて、豊寿園職員による福祉体験授業を行いました。当日は車椅子の押し方、乗り方についてや、介助を受ける人の気持ちを学んでいただきました。



7月28日
夏の恒例行事となりました、門司区ボランティア・市民活動センター主催の、「夏休み福祉体験講座」が豊寿園を会場に行われました。門司区内の小中学生約40名が、介護の体験やご利用者様との交流を行い、最後には参加者全員で記念の手形作品を作りました。

栄養一口メモ



調理の工夫で塩分を おいしく減らしましょう

前回は引き続き「塩分をひかえるコツ」の第2弾です。

前回は、塩の使い方のポイントについて述べました。

しかし、ただ単に塩味を控えるだけでは、せつかくの料理をおいしくいただく事ができなくなってしまうすし、長続きしません。

そこで今回は、ちよつとした調理の仕方であまいしく塩分を減らすコツを紹介いたします。



ポイント2

香ばしさや香辛料を上手に使いましょう

ゆず・レモン、すだちなどの柑橘類や、しそ、ハーブなどの香草類、みょうがなどの香りの強いものを料理に加えましょう。香りが酸味が加わることで、薄味でも美味しく食べることができます。

また、柑橘類と同じく、お酢も和え物や焼き物に利用すると風味も増して、醤油などをそれほど使わなくてもおいしくいただく事ができます。

炒ったゴマや胡桃で和えたり、焼き物や煮込み料理に、カレー粉やとうがらしなどの香辛料で料理にアクセントを付けると、料理にも変化が付き、全体的に塩分を控えた献立になります。

介護一口メモ

【参考】まだ循環器内科HPより
<http://www.m-junkanki.com>

肺炎球菌ワクチンご存知ですか？

前回、感染症の予防方法として「手洗い」の方法を紹介しました。
 今回も引き続き感染症の予防方法として、「肺炎球菌ワクチン」についてご紹介したいと思います。

肺炎球菌とはどんなワクチンか？

厚生労働省の「人口動態統計」によると、日本人の4番目に多い死因が肺炎です。
 高齢者を中心に、肺炎で亡くなる人は年間8万人に達します。インフルエンザにかかった高齢者の1～4が細菌性肺炎になるとも言われています。悪化が早い肺炎の場合は、治療の効果がでる前に死亡することが少なくありません。

肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間は？

肺炎の死亡率は薬や医療技術の向上などによって最近までは低下していましたが、しかし、近年再び上昇しています。

「肺炎球菌ワクチン」は高齢者の肺炎の原因となる病原体のなかで、最も頻度の高い「肺炎球菌」という細菌を狙った予防ワクチンです。当然ながら、肺炎球菌以外の微生物による肺炎の予防効果はありません。

くれぐれも「肺炎球菌ワクチン」はすべての肺炎に有効ということではないことを理解してください。

さらにこのワクチンには「肺炎予防効果」とともに、肺炎球菌による「肺炎になつても軽症ですむ」、「抗生物質が効きやすい」などの効果もあります。

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌によって引き起こされるいろいろな病気(感染症)を予防する効果のあるワクチンです。



肺炎球菌ワクチンの接種するには？

5年で抗体価(注:ワクチンの効果を示す指標)がピーク時の8割に低下しますが、5年以後も効果は残ります。

また、このワクチンには23種類の肺炎球菌すべてに対して十分な免疫を獲得できるかは、個人差が大きいと言われていますので、みんなに同じ程度有効というわけではありません。

肺炎球菌ワクチンの接種は、各医療機関にて行われています。

ワクチンについての詳しい説明や、接種をご希望の際には、まずはかかりつけ医にご相談ください。



ポイント1

香りや酸味を上手に利用しましょう

ゆず・レモン、すだちなどの柑橘類や、しそ、ハーブなどの香草類、みょうがなどの香りの強いものを料理に加えましょう。香りが酸味が加わることで、薄味でも美味しく食べることができます。

また、柑橘類と同じく、お酢も和え物や焼き物に利用すると風味も増して、醤油などをそれほど使わなくてもおいしくいただく事ができます。



日本赤十字社

We are Volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。

「ボランティア」とは、「ボランティア」というお話ですが、まず当時はボランティアという言葉の意味さえ知りませんでした。その先生のお話によると、「奉仕家」ということらしいのですが、言い換えると「自分の活動に責任を持つ、しかも無償で働く。」という意味があるそうです。随分難しいものだと思います。

「ボランティアの会」に入会しました。十四年前、夫の転勤で家族三人、生まれてはじめて関門トンネルをくぐり北九州に移ってきました。右も左もわからず友達もいない中で、ふと目に留まった赤十字家庭看護法(現 赤十字健康生活支援講習)の講座を受けました。その時の先生の一言で「じゅんの会」に入会しました。

今回は、豊寿園の開設とともに結成された北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会、会長の国島ふさ子さんに、ボランティア活動をはじめられたきっかけについてお話を伺いました。



国島 ふさ子 さん
北九州赤十字看護奉仕団
じゅんの会 会長
北九州で唯一の赤十字看護奉仕団であるじゅんの会会長として、豊寿園の開園以来、リネン交換などの活動を続けていただいています。

「自分の行動に責任を持ち、しかも無償で働く。これがボランティア」

でも、九州に移ってきてめぐり合ったのも何かのご縁だし、今まで全く足を踏み入れたことのない世界にどっぷりと浸かってみるのも良いものだと思います。今でははずぶずぶと沼地に足を踏み入れるかの如くの毎日です。

「じゅんの会」に入会して良かったと思うのはどういふことですか？

赤十字のボランティアとして活動をしていると、色々な出会いや研修を通して月謝を払わずに勉強ができる、その中で自分に磨きがかかる、これはいい事だと思っています。「情けはひとのためならず」といいますが、まさにいつかは巡り巡ってくるものだと思いつつ、今日もまた、ボランティアに励みたいと思います。

「国島さんが会長を務めるじゅんの会の方が投稿してください」た川柳を結びに「ご紹介いたします」

華麗なる川柳への道(番外編)
真つ白な
リネンに代えたよ
さあどうぞ

Houjuen Experience report

豊寿園体験レポート



豊寿園のご利用者様の日常を紹介するコーナーです。今回はショートステイの一日をケアプランセンター管理者の城戸さんが体験してきました。

**ここは生活の場所
自宅と変わらない
環境を...**

要介護者を抱えるご家族様が、外出などの用事で介護ができない時、家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図る時、ご利用者様に短期間宿泊していただく場所、それがショートステイです。短期間ではありますが、ご利用者様が不安なく、過ごしていただけるよう、職員が関わりを持ちながら、自宅での生活スタイルをなるべく変えないように支援させていただいています。



ショートステイでは色々なボランティアの方に関わっていただいています。今回の体験は、傾聴ボランティアの方のレクリエーションに参加させていただきました。季節のお話から始まり、懐かしい歌では、皆さん自然と歌詞を口ずさまれていました。皆さんのお話は盛り上がり、いつもはあまりお話しをされないご利用者様も、楽しかった若い頃の思い出を一つ一つお話しされていました。一日のうちたったひと時ですが、皆さんと一緒に笑顔になれる時間でした。

1 日 の 流 れ

- 6:00 起床
- 7:45 朝食
- 8:00 歯磨き
- 9:00 ラジオ体操
- 10:00 整容
- 12:00 昼食
- 歯磨き
- レクリエーション
- 入浴
- 15:00 おやつ
- 17:30 夕食
- 18:00 歯磨き
- 就寝準備
- 21:00 消灯

豊寿園ブログ村

豊寿園に勤務する職員が私生活で感じたことなどを徒然と書き込む豊寿園ブログ村。

今回は介護長兼訪問介護管理者兼ケアマネジャーの坂根琢也さんです。

「部員募集中です！！」

私は15年ほど草野球をしています。
その名は「パーリーゲイツ」。勝利への道という意味です。

高校時代の友人と、歳をとる前に何かしよう！と思
い立ち、同窓生に声を掛け何とかチームを作りました。
当時は、全国軟式野球連盟、略して、全軟。という
格式とレベルの高いリーグに加入していましたが、所
詮は草野球、遭えなく2年で脱退。その後某全国紙のサ
ンデーリーグに加入し現在に至ります。

加入当初は当然の事ながら平均年齢25才！C級から
始まり「アッ」という間にA級に昇格しました。

ところが、歳と時代の波には敵わず……………

体力が衰えた、工場の統合等で転勤になった、はた
また、子供の面倒を見る等の理由によって、メンバー
が年々ひとり、ふたりと減っていき、勝利よりも毎年
チームの存続が危ぶまれる状態です（汗）

そんな状況ですが、同じリーグの方で70才を過ぎて
まだまだ現役のピッチャーの男性がいます（さすがに
三振はしませんが、たまに負けます）。

この方までとは行きませんが50才くらいまでは何と
か草野球を続けたいと思います。

イラスト = M/Y/D/S (<http://clipart.myds.jp/>)

豊寿園職員のブログはホームページ上で公開しています。
毎月1回更新中です。是非一度ご覧ください。

○ホームページアドレス <http://nissekhoujuen.jp>



編集後記(editorial note)

長かったような、短かったような猛暑？も通り過ぎ、
すっかりと秋らしい気候となりました。

子どもを持つ身としては、仕事以外に運動会やお遊
戯会、七五三に参観日と、プライベートも賑やかに
なってきました。

今回の“豊かな樹”では新卒職員の座談会を企画し
ました。日々遅くなっていく彼女達を見ながら、目
標や課題に取り組んで行くことの大変さや、素晴らし
さを感じます。

一人の親として、どうすればそのことをわが娘にも
伝える事ができるか、今度父親達の座談会でも企画し
ようかと考える「悩める秋」です。

平成23年度広報委員 生活相談係 森 英樹

地域ぶらり情報

門司のご当地グルメを食べませんか？

豊寿園に勤務する職員がお勧めの地域情報を紹介するコー
ナーです。

今回ご紹介するのは、機能訓練指導員 松尾彩子さんお勧めの
焼きカレーの美味しい、**洋膳茶房にしき** さんです。



お店の 外観

焼きカレーは門司港のご当地グルメとして有名ですが、
私のいちおしのお店は『**洋膳茶房にしき**』さんです。

このお店は、とにかく五感を刺激されます！

まず、お店の敷地内に入ると、和なのか洋なのか、新しいのか、
古いのか…、不思議と調和がとれていて素敵な雰囲気。そして、
聞こえてくる音はあまり耳慣れない音楽。アンティークの椅子に
腰かけると、自分がどこにいるのか分からなくなるような錯覚を覚
えます。

評判の焼きカレーセットを注文し、しばらく待つと香ばしいカ
レーの香りとともに焼きカレーが運ばれてきます。この焼きカレー
は具がいっぱいで、ごぼう、かぼちゃ、ニンジン、こんにゃく？昆
布？…何が入っているのか、見つけるのも楽しみの一つです。

身体に優しく美味しいカレーを食べたあとは、デザートのス
イカのシャーベットとコーヒー。ほっこりしたひと時が過ごせます。
脳の活性にも癒しにもなる『洋膳茶房にしき』。ぜひ一度お立ち
寄りください。



焼きカレー以外にも体においしい
メニューがたくさんあります

洋膳茶房にしき

北九州市門司区港町2-17
TEL 093-321-2602
定休日：月曜日





養成校でもっと学んでおきたかったと感ずるのは何ですか？

岩藤：入職してきて、高齢者が医療と密接に関係している方が多いということを感じました。もっと、疾病や薬などについて勉強しておけば良かったと感じています。

倉田：やはり、認知症のこと、特にコミュニケーションや対応について勉強しておきたかったですね。

川口：学校では、認知症の症状など一般的な理解は教わりますが、もっと実践的な対応方法等が必要だと感じました。

荒木介護長(以下、荒木)：実際の対応は学校での授業ではなく、実習を通じて直に対応してみないと学べない事が多いですね。対応も個別的なものが多いので、先輩達の場面毎の対応を見て、その意図などを教わりながら高めていって欲しいと思います。



豊寿園に入職してから、赤十字への意識に変化はありましたか？

岩藤：やはり、今回の東日本大震災では報道などで自分の所属している組織の大きさや重要性を強く感じました。

牧野：私もプライベートで赤十字のマークを見つけたり、献血ルームなどの近くを通ると、ここにも同じ仲間が働いているんだと感じて嬉しくなります。

居倉：先輩達が、ご利用者様の介護方法を検討したり、お一人おひとりに対して一生懸命になっている姿を見ると、入職時の研修で教わった、赤十字の理念である「人道」という言葉の意味を意識させられます。



豊寿園に入職して良かったと感じることは何ですか？

岩藤：入所されている方の多くが認知症をお持ちなので、認知症介護の事を深く学ぶ事が出来る事が自分自身のスキルアップに繋がると感じます。

居倉：私も同感です。日々の業務の中だけではなく、毎月の研修なども充実しているところが入職して良かったと思います。

牧野：私は、目標にしたい先輩達が多いところが、入職して良かったと思う点です。そういった先輩達が丁寧に指導して下さる環境がありがたいと思います。

荒木：将来、あになりたい、こうなりたい、だけでなく先輩の職員と比較して何が足りないのか、身につけるにはどうすれば良いのかを具体的に考えて欲しいと思います。先輩達と一歩ずつ一緒に向上していきたいです。



貴方たちの物語を ～ 座談会の結びに ～



介護係長 奥水 薫
(北九州市認知症介護指導者)

豊寿園に入職され1、2年のみなさんですが、日を重ねるうちに緊張した表情が和らぎ、ご利用者様に笑顔で接する姿に、近い将来豊寿園の中心となる職員になっていくのだと確信しています。

皆さんには「これでいいのか」と、常に考える職員でいてほしいと思います。介護の世界は日々進化しています。古いやり方や体質は変えていかなければなりません。情報を収集するアンテナを張り巡らし、自己啓発をおこない、自分自身の意見を伝えられるスキルや能力を身につけてほしいと思います。

現状に甘んじることなく、ご利用者様が安心安全に笑顔で過ごせる施設、地域から選ばれ愛される施設を実践するには、職員一人ひとりの団結力が重要です。この豊寿園で、ご利用者様お一人おひとりと、専門職である貴方達の物語を紡いでいって欲しいと思います。

そして、そのような高い志を持つ若い方々が、これからも豊寿園に集ってくれることを期待しています。

豊寿園フレッシュマン座談会 「私達の物語」

秋は、介護分野も含め、就職活動のピークを迎える時期です。豊寿園に新たに加わった新卒職員達に、豊寿園での業務や入職前から今日までに戸惑ったことなどを荒木介護長の進行のもと語り合ってもらいました。これから介護の仕事に就きたい、また、豊寿園で働いてみたいとお考えの方がいらっしゃいましたら、参考にしてください。

座談会に参加した職員紹介(出身校・入社年)



1階特養 介護福祉士
岩藤 忍
(麻生医療福祉&観光
カレッジ専門学校 卒
H22年 入職)



1階特養 介護福祉士
居倉 央実
(日本社会事業大学 卒
H22年 入職)



1階特養 介護福祉士
川口 葵
(東筑紫短期大学 卒
H22年 入職)



2階特養 介護福祉士
牧野 真弓
(啓知高等学校 卒
H22年 入職)



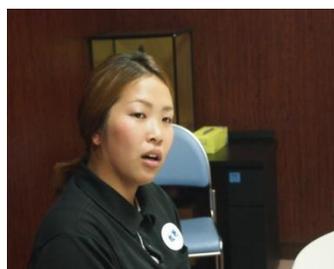
1階特養 介護福祉士
倉田 沙耶香
(慶成高等学校 卒
H23年 入職)

入職前の豊寿園のイメージはどういうものでしたか？

岩藤：自宅が近くなので、入職前にボランティアとして特養に入らせてもらっていたのですが、時間がとてもゆっくりと流れていて、せかせかせしていない雰囲気がとても良いと思いました。だけど、赤十字の施設なので採用してもらうのは難しいかなと思っていました。

川口：学校で求人票を見たときに、認知症の方を専門的に介護しているとあったのを見て、私自身在学习中から認知症介護にとても興味があったので、受験してみました。

居倉：見学に行った時に、奥水係長から個別ケアの取り組みを聞いて、お年寄り一人ひとりを大切にしている施設だなと感じていました。



入職後に戸惑ったことはありませんでしたか？

牧野：私は在学习中から2度実習をさせてもらっていましたが、その時は、皆と同じようにゆったりと時間が流れてると感じていましたが、いざ自分が職員になってから、その裏では職員がとても慌しく動いていてそのペースに慣れるのに戸惑いました。

居倉：3交替の勤務なので、体力や精神的にも慣れるのが大変でした。

倉田：はじめの頃は、ペースについていけなくて質問するのにも先輩を捕まえるのに苦労していました。先輩たちも親切に教えてくれるので助かっています。

今、自分で感じている課題は何ですか？

岩藤：入職から2年目になって、日勤帯のリーダー勤務(注:当日の出勤者に業務内容の分担や指示を行ったり、ご利用者様の行動を見守る業務です)をさせてもらえるようになったのですが、もっと周りの出勤者の動きを把握しながら指示できるようにならないといけないと感じています。

川口：私も同じくリーダー勤務をする時に、周りの先輩達に私が見えていない部分をフォローされてばかりなので、もっと周りを見渡す能力が必要だと感じています。



2011

Vol. 13

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJJUEN



豊かな樹

F R U I T F U L L T R E E

豊寿園

Director of photography kyoumi kido

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

